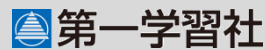


# 大学入学共通テストの 試行調査について

広島大学附属福山高等学校教諭 下前弘司



## ① 試行調査概観

大問数および設問数を過去のセンター試験と比較したところ、大問数、設問数ともにセンター試験と大差ない。しかし、文脈判断や資料の読み取りが重視されていることから、センター試験よりも解答に時間がかかる可能性が高いと思われる。また、倫理思想の理解だけでなくそれを活用する力も試されているように思われる。ポイントを押さえてスムーズに解答できるようにするために、試行調査の特徴を分析し、対応策を考えたい。

## ② 出題形式からみる試行調査の特徴

センター試験では、まず長いリード文があって文中に複数の下線が引かれ、その下線部に関連する問いに答えよ、という形式が一般的であった。しかし、試行調査ではこの形式とは異なる出題形式が大半を占めた。対策のためには、出題形式を詳細に検討する必要があるため、問いごとに出題形式を示した。

### ■ 第1問

#### ●短い会話文と2枚の絵画資料

- ・2枚の絵画資料から読み取れることとして適当なものを選ぶ。

#### ●会話文

- ・会話文と具体的事例のリンクとして適当なものを選ぶ。

#### ●会話文と資料

- ・資料の具体的事例としてふさわしくないものを選ぶ。

#### ●原典資料と解説

- ・思想家とその思想内容として適当なものを選ぶ。(旧来通り)
- ・原典資料に関する対話の空欄補充で矛盾のない対話を完成させる。
- ・解説文と具体的事例のリンクとして適当なものを選ぶ。

●学習課題が提示された板書

- ・倫理に関するキーワードを任意に1つ選ぶ。
  - ・キーワードと最も関連の深い原典資料を選ぶ。
  - ・キーワードと原典資料の背景として適当なものを選ぶ。
  - ・キーワードと原典資料の解釈として適当なものを選ぶ。
- } (完答問題)
- ・3つの宗教の要素をまとめた資料を見て3宗教の共通点を全て選ぶ。
  - ・倫理に関する言葉の説明を任意に1つ選ぶ。
  - ・先に選択した言葉の説明と関連の深い原典資料を選ぶ。
- } (完答問題)
- ・原典資料に関する対話の空欄補充で矛盾のない対話を完成させる。

■ 第2問

●会話文と2枚の絵画資料と2つのデータ資料

- ・絵画資料から読み取れることとして適当なものを選ぶ。
- ・会話文に合うよう、国・地域とそこで主に信仰されるものの組み合わせを選ぶ。
- ・絵画資料の解説として適当なものを選ぶ。
- ・2つのデータ資料から読み取れることとして適当なものを選ぶ。

●写真(解説付き)と思想内容と原典資料

- ・写真(解説付き)と思想内容と資料の組み合わせとして適当なものを選ぶ。

●原典資料と用語と用語の説明

- ・原典資料と用語とその用語の説明について、正しい組み合わせを選ぶ。

●原典資料

- ・原典資料から読み取れることとして適当なものを選ぶ。

■ 第3問

●短いリード文

●原典資料

- ・原典資料にある用語(空欄になっている)に関連する思想内容として適当なものを選ぶ。

●3つの絵画資料

- ・絵画資料とその解説の組み合わせとして適当なものを選ぶ。

●原典資料

- ・原典資料の内容と具体的事例のリンクとして適当なものを選ぶ。

●哲学者の考え方を活用したレポート

- ・レポートの内容に合う人名とその人の言葉の組み合わせとして適当なものを選ぶ。
- ・レポートの内容に合う解説と思想内容として適当なものを選ぶ。

●レポート文

- ・レポートの内容に合う思想の組み合わせを選ぶ。

## ■ 第4問

### ● 課題研究メモ

- ・思想の解説(4つの短文)を並び替え、論理展開として適当なものにする。
- ・現代の倫理課題に関する現状として適当なものを選ぶ。

### ● 課題研究の成果発表原稿

- ・原稿の内容と矛盾しない考え方を選ぶ。
- ・原稿の内容と矛盾する文を選ぶ。

### ● 研究発表へのコメント

- ・コメントの内容と矛盾しない文を2つ選ぶ。

出題形式が一新されていることに気づいていただけるだろう。

センター試験では、大問の最終問題に「本文から読み取れるものを選ぶ」という形式の問いがあった。それ以外は基本的に「思想家とその思想内容として適当なものを選ぶ」という形式が多数を占めていたが、試行調査ではそのような出題形式は大幅に減少した。また、思想家とその説明の組み合わせを選ぶ問題もセンター試験には散見されたが、試行調査ではそれに加えて会話文や資料との関連性も考慮しなければならない問題が多くなった。つまり、文脈で判断する力が求められているといえる。また、資料の読み取り問題が大幅に増加したところにも特徴がある。さらに、思想内容を具体的事例に置き換えて正誤を判断する問題も多数出題された。

今までには全くなかった複数の答えがある問題に目が向きがちであるが、それよりも重要なのは、いわゆる「主体的で深い学び」を意識した問いが増加している点である。「主体的で深い学び」を測るために出題形式が一新されたものと考えるのが妥当であろう。

では、倫理において「主体的で深い学び」をすすめ、共通テストに対応できる力を身につけるためにはどのような対策が必要なのかを考えたい。

## ③ どのような対策が必要なのか

### ① 知識の身につけ方

「この世は末法であり、自力での修行では救われないため、阿弥陀仏の他力を信じて専修念仏することを提唱した人物は誰か。」であったり、「阿弥陀仏の他力と本願を信じ、ひたすらに南無阿弥陀仏と念仏を唱えるという、法然が提唱した易行を何というか。」であったりといった、いわゆる一問一答問題のような問題に答えられるだけでは倫理の問題には十分に対応できないことは従来と変わらない。思想家とその思想を象徴する用語を覚えることは必要だが、その意味内容、定義といったものを正確に理解することが必要となる。

そしてさらに、思想の背景やその影響もあわせて理解することが必要となる。そのためには、思想家の略伝や時代背景を通して、思想家の問題意識がどこにあったのかを理解し、その上で思想内容を学ん

でいくことが重要である。

その際に、「弥陀の本願とは何だろうか。」という問いだけではなく、「なぜ他力を信じる必要があると説かれたのだろうか。」「なぜ法然は専修念仏という方法を選択したのだろうか。」「法然はどんな人に対して救いの道を示そうとしたのか。」というように、理由や目的を意識した問いをできる限り授業に取り入れていくことで、思想の背景や思想家の問題意識をふまえた学習をすすめることができるだろう。

教科書や資料集には、章の冒頭に「概観」が示され、思想家ごとに略伝が示されていたりするので、これらを活用することをおすすめする。決して「要点の整理」の丸暗記にならないようにしたい。また、主な思想家のページには、思想を理解するための問いが示されている場合もある。こういったものを参考に、考えながら思想を理解する授業をすすめたい。

## ② 資料を読み取る力を支える言葉の理解力と文脈を読み解く力

資料の読み取り問題が多く出題され、特に図像の解釈に関する問題が多数出題された。これに対応するためには、言葉の理解力が必要である。倫理ではさまざまな、そして時には難解な抽象概念を多く扱う。今までも思想家を象徴する倫理用語を理解し、倫理用語の言い換えとして適切なものを見抜く力を身につけることは重要であった。共通テストではそれに加えて、図像からメッセージを読み取り、倫理で学んだ抽象概念を用いてそれを説明できる力が求められているといえる。共通テストにおいて資料を読み解きその解釈を文章で表現することは求められないが、それができない力がないと資料の解釈として何が適切であるかを見抜くことは十分に果たせない。また、会話文やレポートなどに多くの空欄が設定され、文脈をふまえて判断することが頻繁に求められている。

適切な問いを設定することができれば、思想を読み解いていくだけでも言葉の理解力と文脈を読み解く力は育成できるだろうが、思想史的に学んでいくことだけではなく、何らかのテーマを設定し、それに関連する思想を用いて語り合う、レポートを作成する、といったことを取り入れていくことが有効だろう。

## ③ 原典資料の重要性

原典資料が多用されるからといって、主な資料を覚えさせるというのではいけない。原典資料が伝えようとするものは何か、なぜこのような思想を展開するのかという視点で資料を読み解く訓練を積んでおくことが重要である。

教科書や資料集には、原典資料にその資料を読み解くポイントや理解を助ける問いが示されているものがある。そして、原典資料の解説がコンパクトに示されていることも多い。こういったものを活用して、資料を読み解く力を身につけさせたい。

## ④ 日常や具体的な事例との結びつきを意識した学習

思想家が伝えることを現実に置き換えて理解すること、日常の問題について倫理思想を用いて考えることが必要である。思想の解説をしつつ、現実にあてはめて理解を深め、さまざまな現実をイメージしつつ学習をすすめさせたい。高等学校教員には倫理学の専門家ではない方が多いだろうが、恐れずに「今を読み解くために倫理を学ぶ」という姿勢で授業をすすめたい。

生徒自身が自己理解と世界認識を深め、現代社会の諸問題を自らの問題としてとらえ、その背景を読み解き、さまざまな考え方を解釈し理解を深めていくような「主体的で深い学び」をすすめていくことが、共通テスト対策の要点である。

#### ④ 「大学入学共通テスト」に関する今後の予定

2019年（3月まで）	・ 試行調査(プレテスト)の分析結果の公表
2019年（4月以降）	・ 実施大綱の策定・公表 ・ 出題教科・科目の策定・公表
2020年（4月以降）	・ 実施要項の策定・公表(時間割, 出願期間)
2021年（1月）	・ 「大学入学共通テスト」の実施

(平成30年12月19日)

本分析資料のほか、他教科・他科目の分析資料(PDF)もダウンロードできます。



 第一学習社

広島本社

733-8521 広島市西区横川新町 7-14

TEL 082-234-6800